

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	高齢者福祉課
課名	高齢者福祉課

予算	款	項	目	決算書
	3	2	3	110 頁

目名
老人施設措置費

事務事業名称
老人施設措置事業

1. 概要

目的	老人福祉法第11条に基づき、要保護老人を養護老人ホームに措置する	対象	概ね65歳以上の要保護高齢者
事業概要	○養護老人ホーム措置事業 市内養護老人ホーム(常楽荘、三国寮)、市外3施設(南山荘、紅葉寮、寿楽苑、)に44名を措置		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	養護老人ホーム措置事業	44名措置	扶助費	94,917	89,218			11,908	77,310	3
計				94,917	89,218	0	0	11,908	77,310	

2. 指標設定

成果指標	指標名	養護老人ホーム入所者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	55人			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-1-3)の高齢者や障がい者がいきいきと生活できるよう支援する			
活動指標	指標	a	入所施設数	b		c		d
	数値	目標	6ヶ所	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
養護老人ホーム入所者数	人	52 人	51 人	44 人
		94.5 %	92.7 %	80.0 %

活動指標名		単位	H21	H22	H23
a	入所施設数	ヶ所	6 ヶ所	6 ヶ所	5 ヶ所
			100 %	100 %	120 %
b					
c					
d					

4. 課題と対応

課題
入所者の介護重度化が目立ち、外部サービスの利用が増えてきた
対応（改善点等）
個別援助計画をたてることにより、適切な支援を受けるようにする

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

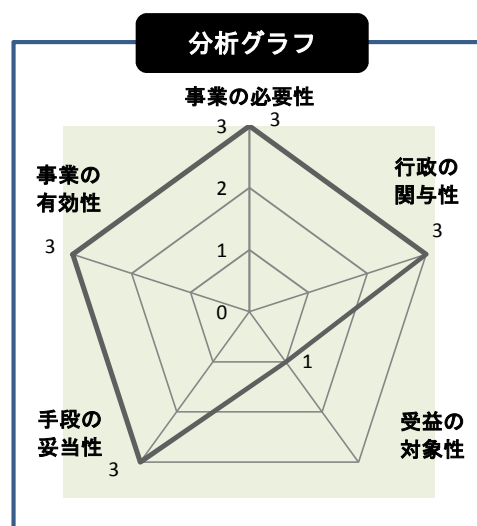
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		108,184	94,825	89,218	103,585
うち経常経費		92,130	94,825	89,218	103,585
財源内訳	国費	0	0	0	0
	県費	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	16,054	13,261	11,908	11,864
	一般財源	92,130	81,564	77,310	91,721
うち経常		92,130	81,564	77,310	91,721
事業費に係る人件費		5,376	5,037	5,805	6,097

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
H23年度は、後半に退所者が多く現在は44名となっている。H24年度以降も50名程度を見込む

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 老人福祉法により規定されている事業。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 老人福祉法により規定されている事業。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 高齢の要保護者の事業である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市内養護老人ホーム(常楽荘、三国寮)の役割は大きい、状態像で市外も必要
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 平成19年度以降は概ね50～53名程度で推移



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	対象者の的確な実態把握と適切な事業実施に努めること。負担金収納に努めること。